

令和5年度 環境まちづくり基金活用事例

①庁舎管理事業(ESCO事業) 2,321,000円

ESCOとは、Energy Service Companyの略称で、空調に関する熱源機器の更新やLED化などの省エネルギー効果を見込むことができる手法をESCO事業者から提案いただき、施工・維持・管理までを含めた包括的なサービスを提供する事業です。エネルギー改修にかかる費用を節減されたエネルギーコストの一部から償還されることが特徴です。



地下(ガス吸収式冷温水機)



執務室(LED照明)

令和5年度 環境まちづくり基金活用事例

②自然共生事業(里山デイキャンプ) 142,590円

能勢町、吹田市、豊中市の小学生を対象に、能勢町の豊かな自然環境の中で、生き物探しなどのフィールドワークや木工体験、森と水のつながりをテーマとした実験などの体験学習を行いました。

令和5年度は9月9日(土)に実施し、吹田市からは54名の児童が参加しました。



令和5年度 環境まちづくり基金活用事例

③公園等管理事業(公園灯LED化) 17,661,000円

④環境政策事業(マイボトル用給水機) 1,848,000円

消費電力が小さく耐用年数の長いLED照明灯の導入を行い、省電力化及び維持管理費の低減を図りました。



中の島公園

「使い捨てプラスチックの削減」「熱中症の予防」「マイボトルを常に携帯するライフスタイルへの転換及びその定着を図ることで地球温暖化対策に資すること」を目的に、公共施設にマイボトル用給水機を順次設置しています。

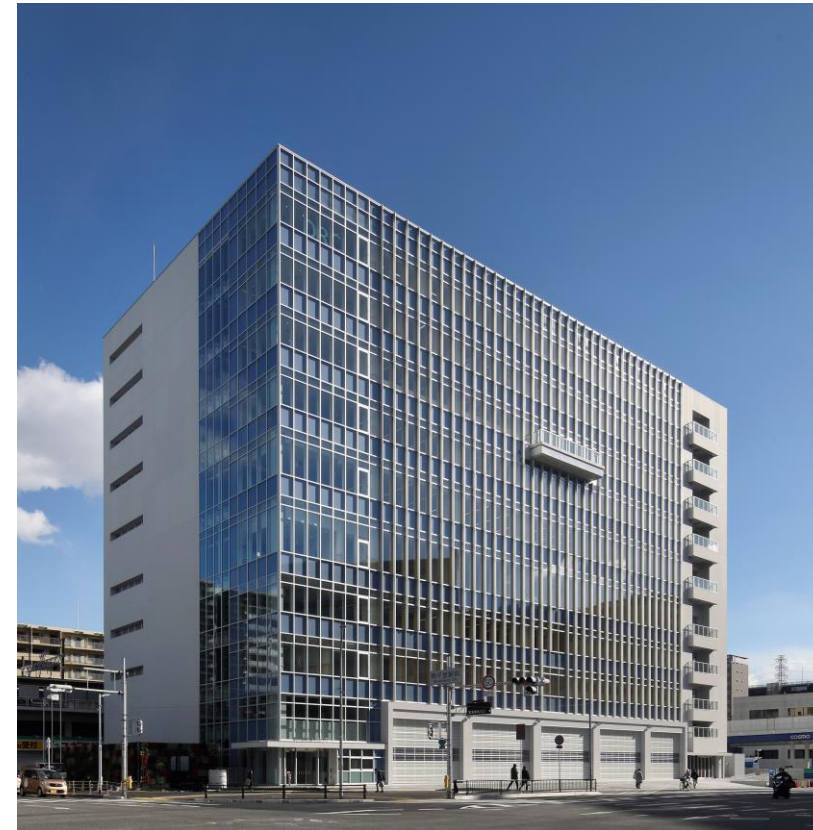


令和5年度 環境まちづくり基金活用事例

⑤北部消防庁舎等複合施設建設事業 30,000,000円 (高効率空調機導入分)

南千里駅前に消防機能、土木部行政機能、教育センター機能を備えた複合施設が完成しました。この建物は太陽光発電、高効率空調機、昼光利用照明等を採用するなど環境に配慮した建物となっています。

また、建物内に木材を採用するなど、循環型社会の形成に寄与しています。



北部消防庁舎等複合施設